

安全と早期完成祈念

ランブ橋 1月までに発注予定
上部工等

泊野道路着工式

地域高規格道路・北薩横断道路「泊野道路」の着工式が20日、さつま町泊野の現地であり、関係者はじめ沿線住民や地権者、泊野小児童ら約100人が出席、工事の安全と早期完成を祈念した。主催は泊野道路安全協議会(岩切明人会長)。



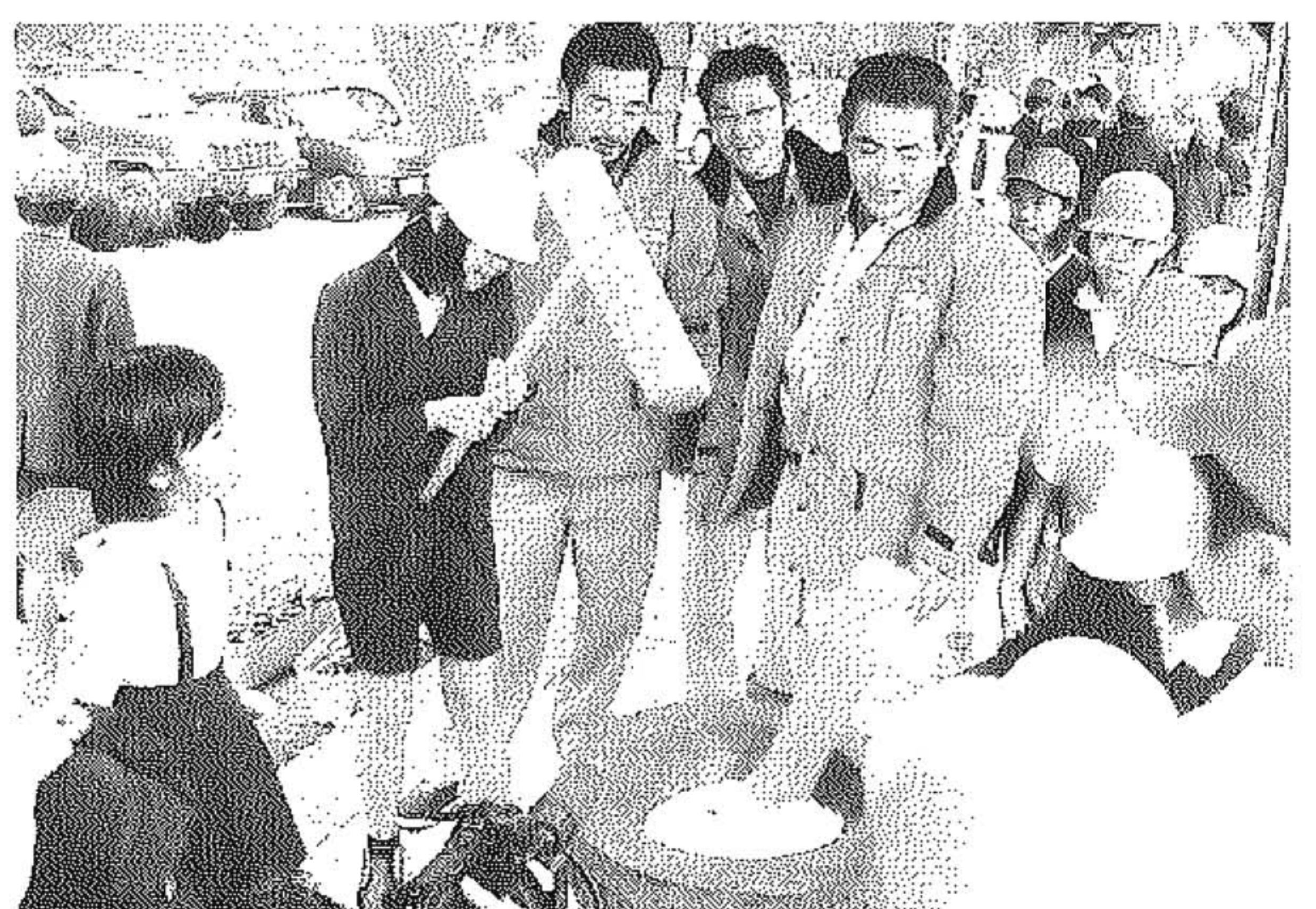
(渡利建設(株)、末吉義人現場代理人(株)二渡建設)の3人が力強く杭打の記念植樹をした。

市来所長は、住民や地権者へ感謝の気持ちを伝え、「県財政は厳しいが、地域の活性化と安全・安心な郷土(くに)づくりにとって重要な道路であることにかんがみ、一刻も早い供用を目指したい」と決意を述べた。

山下文宏社長(株)二渡建設、四元大志社長(渡利建設(株))らが玉ぐしを奉納し工事の安全を祈願。山本求道社長(株)薩摩建設が施工者を代表して「工事はこれから本格的になりますが、より安全により高品質のものを提供できるようまい進したい」と挨拶を述べた。同協会は山本一道専務(株)薩摩建設。

日置青風会が児童と交流会

大田小で きずなを深める



楽しそうにもちつきを体験する児童＝南さつま市の大田小学校で

日置青風会(内野智裕会長)は20日、南さつま市金峰町の市立大田小学校で同校の児童らと交流会を開き、もちつきや給食などを楽しみながら親睦を深めた。

午後から行われたもちつきでは、内野会長が「今、いじめによって将

来を有望さるる尊い命が犠牲になつております。こういう時こそ人と人とのきずなが大切であると考え、皆さんとの交流を図るためにこの場を設けさせてもらいます。

参加会員は次の通り。有川聡(有園) 有馬正

鹿児島市社会福祉協に寄付・寄贈

社協議会に寄付金11万4895円を寄付した。

当日は、江藤会長と石神民男事務局長が鹿児島市のかごし

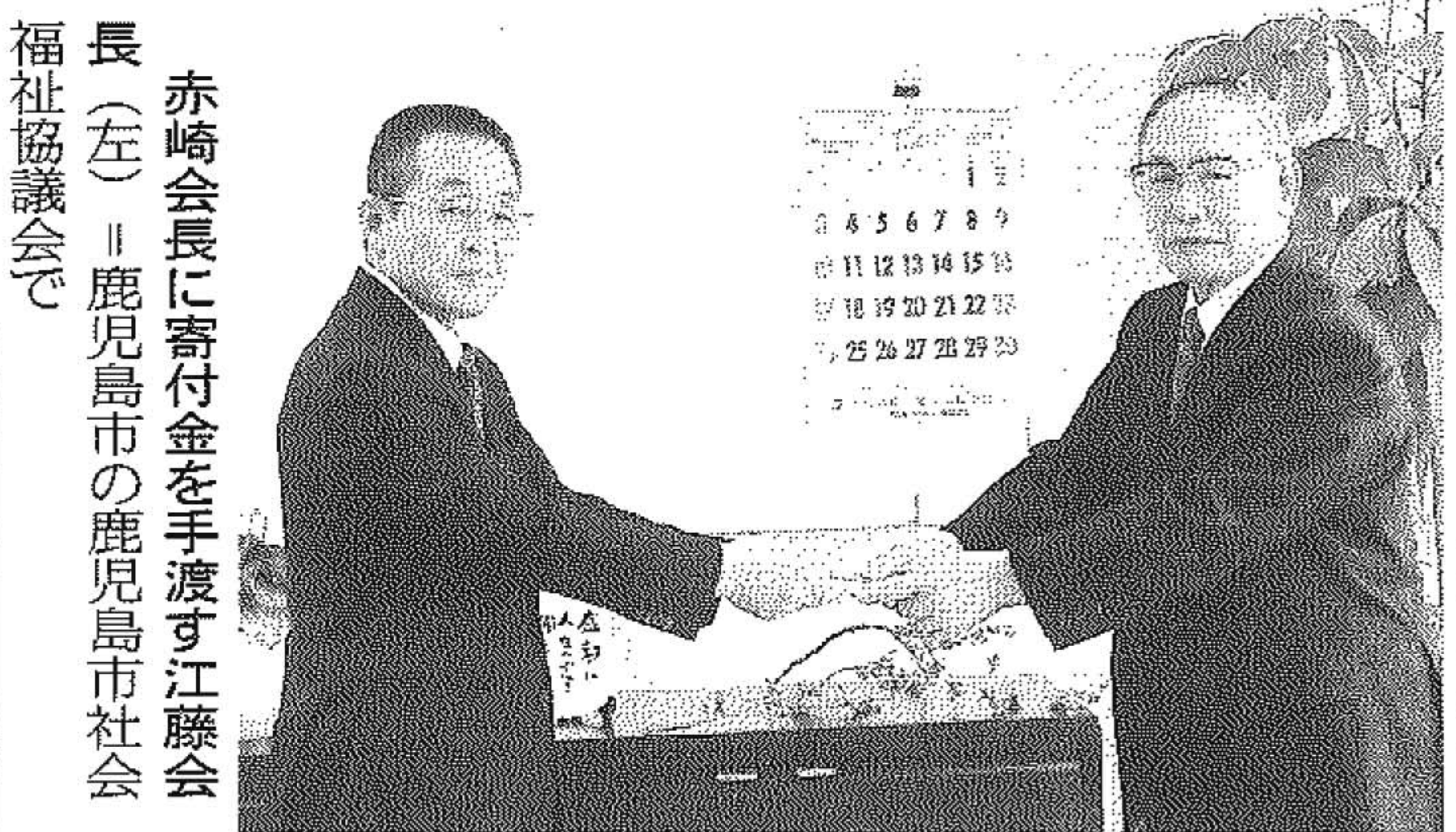
社に少しでも貢献できれば幸いです。どうぞ有意義に使ってください」と寄付金を協議会の赤崎義則会長に手渡した。これを受けて、赤崎会長は「毎年、心温まる寄付をありがとうございます。業界は厳しい環境にあると存じますが、皆さんの温かい福祉の心に対して敬服するとともに、重ね

て感謝します」とお礼の言葉を述べた。同協議会への寄付は7年度から実施しており、今回で10回目、寄付金の累計は約126万円に達している。県建設物解体業連合会は同協議会以外にも、日本赤十字社、県交通被災者たすけあい協会にも長年にわたり寄付を行っている。

県建造物解体業連合会

社会に貢献したい

地域の社会福祉に貢献したい。県建造物解体業連合会(江藤正幸会長)は20日、鹿児島市社会福祉協議会



赤崎会長に寄付金を手渡し江藤会長(左)は鹿児島市の鹿児島市社会福祉協議会

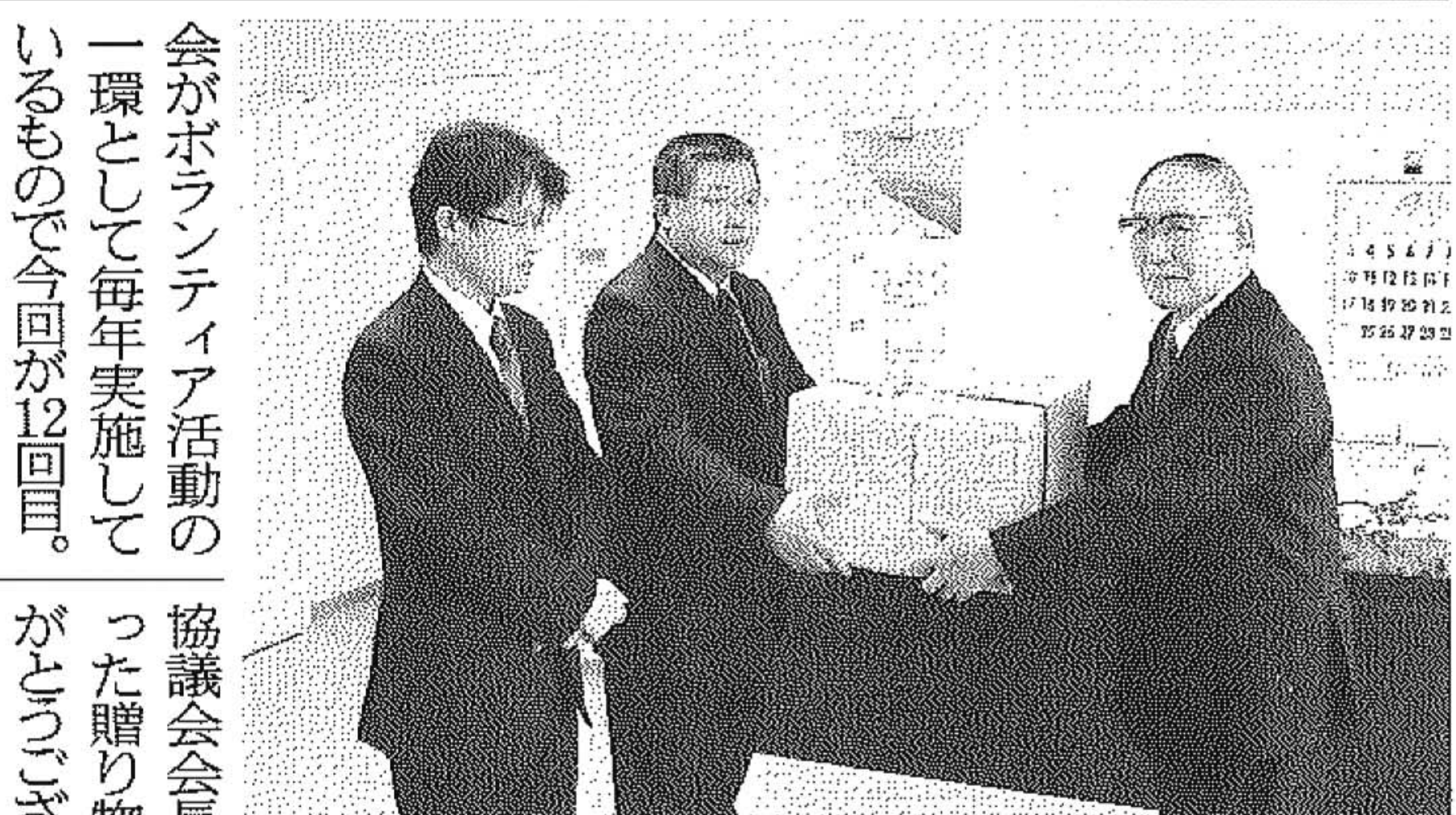
募金と会員の善意の浄財を合わせ持ってきた。地域の社会福

鹿児島電気工事業協組青年部会

思いやりの心大切に

鹿児島電気工事業協組青年部会(春山建部組)は20日、鹿児島市の市社会福祉協議会

会がボランティア活動の一環として毎年実施しているもので今回が12回目。春山部長は「周囲の人々が協力し、助け合うことのできる社会づくりに少しでも役立てていただければ」と、期待を込めた。



軽合金白杖10セットを手渡し春山部長(左)と有木宣久副部長＝鹿児島市の鹿児島市社会福祉協議会で

贈呈を受けた赤崎義則同協議会会長は「心のこもった贈り物を本当にありがたうございます。今後ボランティア実習などに活用させていただきます」と感謝の言葉を述べた。

大隅砕石協同組合忘年会

共販体制維持を誓う

大隅砕石協同組合(伊東計理事長・鹿屋砕石)は19日、ゴルフコンペ、理事会の後、鹿屋市のホテルこばやしで18年度忘



来年も安全対策に努めよう」と挨拶する伊東理事長＝鹿屋市のホテルこばやしで

会。会員工場から参加した約50人は、情報交換などで親睦を深め1年の労をねぎらった。またゴルフコンペの表彰もあった。最後に頼朝弘志副理事長(南サカイ工業)の三本締めで閉会した。ゴルフコンペの主な成績は次の通り。

購読料のお支払いが
お手軽で便利な
自動振替で

鹿児島建設新聞

099-227-5100へ

日本塗装工業会県支部、鹿児島市塗装協会(会報)

16力所
を診断

安全管理の徹底を

日本塗装工業会県支部 島市塗装協会(松岡直光
(濱園賢三支部長)、鹿児島市塗装協会(会長)は27日、鹿児島市



施工状況などを入念にチェックする診断員
鹿児島市の紫原住宅外壁改修現場で

川内川河川

激甚対策特別緊急事業

測量に本格着手

さつま町
川原地区

川内川河川事務所は27日、7月豪雨で甚大な被害を受けたさつま町川原地区(川原橋近くで、川原町公民会(富沢満郎会長)



測量着手を喜び、水神さまに報告する
川原町公民会員=さつま町川原地区で

が見守る中、現地測量を行い激甚災害対策特別緊急事業に本格着手した。

このうち、紫原住宅34号棟外壁改修の現場では、松岡会長ら3人の診断員が現場事務所の書類など

の紫原住宅外壁改修現場などで合同安全パトロール・工事指導を実施。役員や安全委員らが参加し、年末年始に向け労働災害防止と安全意識の高揚を促した。

土石流土砂を除去

遠隔操作で実証試験

無大
型機械

大隅河川国道

大隅河川国道事務所(長井義樹所長)は26日、鹿児島市の桜島黒神川砂

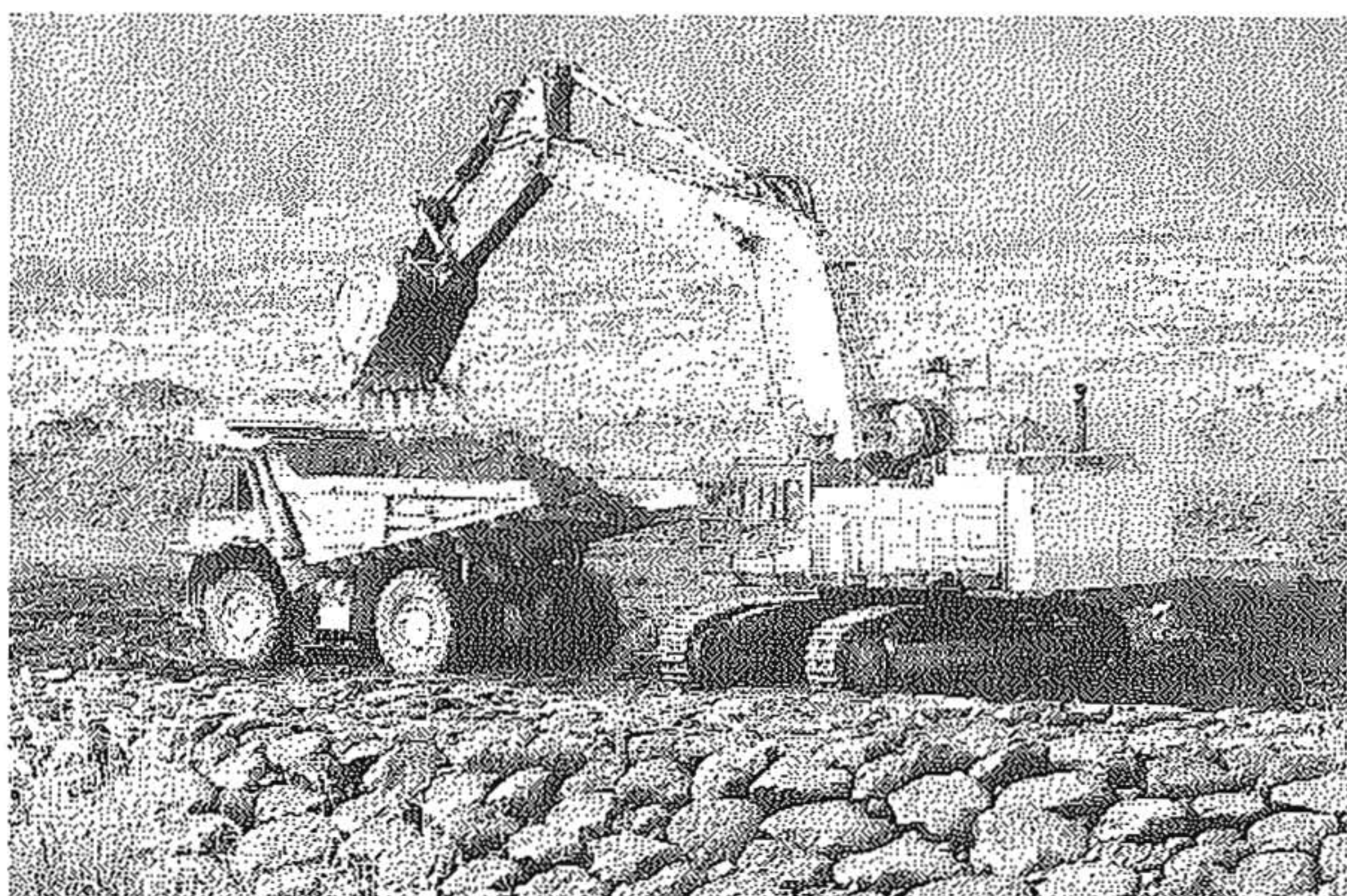
全を祈願した。

榎田範男技術副所長は着手式で「年度内に測量を完了させ早急に設計に着手したい。民地に立ち

入る機会があるのでぜひ配慮して慎重に作業をしてほしい」と指示。

測量は39地区で行われ、年度内に完了させ19年度設計に着手する。早い地区では19年夏頃に詳細設計をもとに地元説明に入る。

富沢会長や舟倉武則副会長らは水神の碑で「きょうから測量が始まりました。よく見守って下さるようお願いします」と祈願、事業着手を喜んだ。



遠隔操作により作業が進められる様子=鹿児島市の桜島黒神川砂防現場で

防現場で既設監視カメラを利用し、無人の大型機械による土石流土砂を除去する技術実証試験を公開した。

何かと慌しくなることから事故が発生することが多い。気持ちを引き締め、業務に取り組んでほしい」と呼び掛けた。また、武岡住宅(22・33・35・69・85号棟)の現場では、日本塗装工業

不法投棄物を処分

ごみパトロール隊近く発足

川内川河川
川内出張所

川内川河川事務所川内出張所(須崎茂美所長)は26日、川内川河川敷等に投棄された4ト車4台分の不法投棄物を処分し、写真は再資源になるものは分別して再生資源処



理場に運んだ。不法投棄物は約5カ月間、維持作業や河川巡視の際に集められたもので、車のタイヤや自転車、電子レンジ等の家電製品、空き缶、ペットボトル等

薩摩川内市の街づくり団体・隈之城愛好会(福重安治会長)は26日、川内ホテルで忘年会を開いた。写真。子供たちの安心・安全のために青パ

安心・安全な地域を

隈之城愛好会が忘年会

当日は、午前10時30分から、同事務所の上江川良治技術副所長や同桜島出張所の宮元洋所長らが作業内容や遠隔操作装置について説明。続いて、

桜島噴火口2kmは立ち入り禁止区域のため、土石流の発生源対策をとることができないことから、危険箇所など施工の安全が確保できない現場において、無人化施工により工事が進められているもの。

泊野道路安全協議会

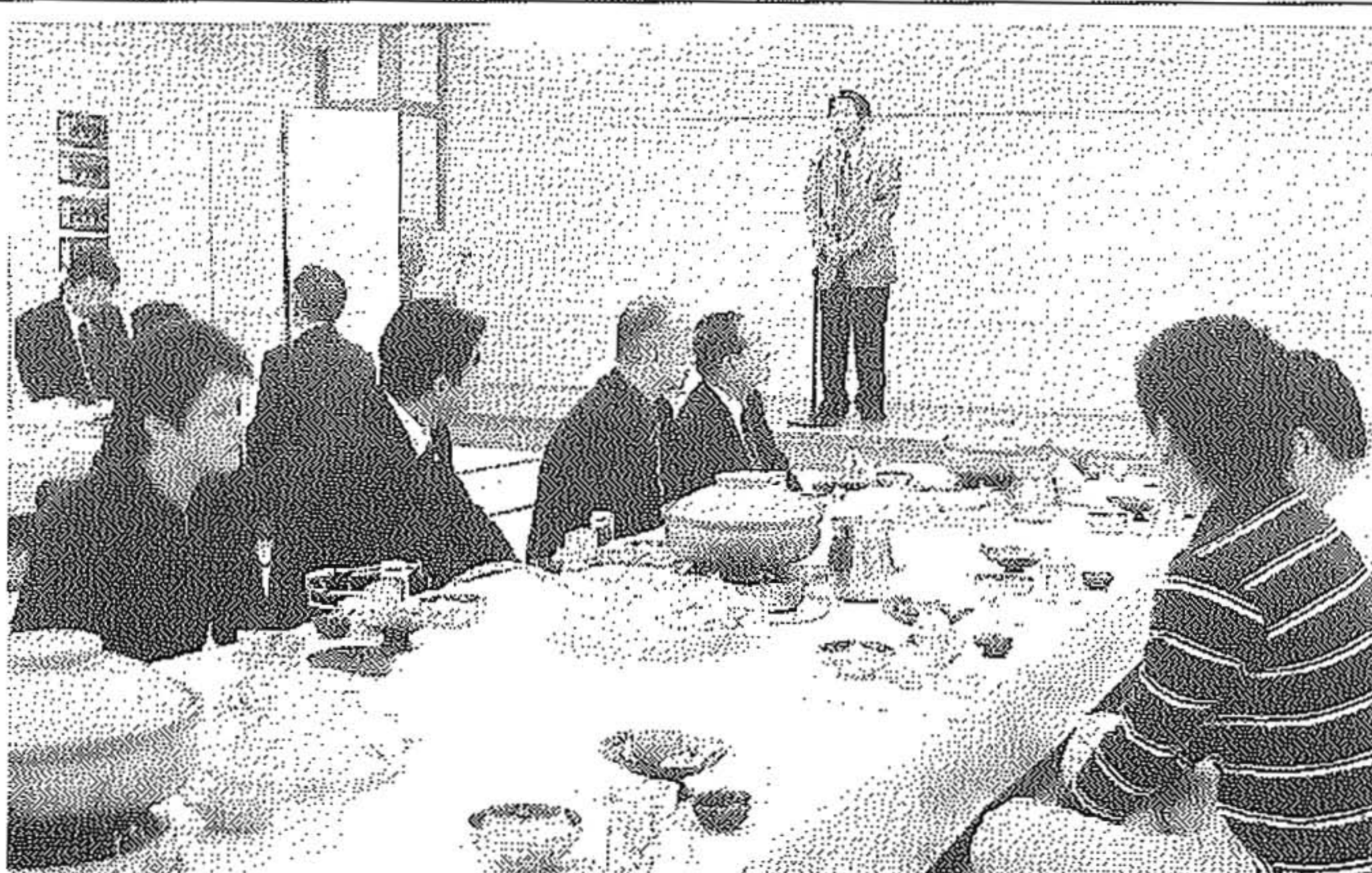
住民に安全施工決意

北薩横断道路(地域高規格道路)の「泊野道路」は泊野道路安全協議会(泊野道路)の3社で



式の後最後に現場代理人と主任技術者は、出席した地区住民の前に進み出て「安全施工に努めます」「ご意見やご要望があれば何でも話してください」「ぜひ地域の行事に参加させていただきます」とそれぞれが決意を述べた。話し終えると住民が大きな拍手で応えた。

福重会長(株)福重電工は「今年は全国で心痛む事件が多発しました。せめてわが地域だけでも明るい話題をつくらんと取り組んでみました。良いことをすれば必ず良い結果になります。」と激励した。会員らは焼酎を飲み交わし来年の抱負等で交歓した。司会事務局の吉満祐市氏(株)吉満組。



果になると言います。これからの頑張ってくださいと挨拶。来賓の精松秀久薩摩川内警察署長は「薩摩川内市に着任早々の仕事で同僚の青パト隊員が活躍で少年非行も減っています。今後も地域のリーダーとして頑張ってください」と激励した。会員らは焼酎を飲み交わし来年の抱負等で交歓した。司会事務局の吉満祐市氏(株)吉満組。